

株式会社安藤・間との「Mizuho Eco Finance」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社安藤・間（代表取締役社長：国谷 一彦、以下「安藤ハザマ」）との間で、シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、コミットメント契約を締結しました。本件は当社第四弾となる本商品の組成となります。

本商品は、国内外で信頼性の高い環境認定や指標等を組み入れた環境評価モデルを用いて、みずほ銀行がお客さまの取り組みを評価し、一定のスコアを満たしたお客さまに対して融資を行うサステナブルファイナンス商品です。

みずほ銀行は、継続的なモニタリングとエンゲージメント（建設的な対話）を通じて、お客さまの脱炭素社会への移行に向けた取り組みの促進を支援します。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の第三者意見書を取得しています。（※2）

気候変動への対応の重要性が高まるなか、本商品をシンジケーション方式で組成することで、当該取り組みに賛同する参加金融機関とともに、安藤ハザマの気候変動への取り組みをファイナンス面から支援します。

みずほ銀行は、安藤ハザマがGXフューチャー・コンソーシアムに参画していること、2025年12月に新たに「1.5℃水準目標」のSBT認定を取得していること、環境方針の筆頭に「低炭素社会の実現に向けて、温室効果ガスの排出量削減に取り組む」を掲げており、その上で、地球環境の保護と調和に向けた取組の一環として、2035年を目標年とする温室効果ガス排出削減目標を設定していること、サプライチェーン全体での年度毎のCO2排出量を開示していることなど、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、ありたき将来の日本の産業構造“グランドデザイン”を描き、その実現に向けてお客さまの脱炭素化・トランジションを積極的に支援しています。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦します。

<案件の概要>

融 資 先：株式会社安藤・間

アレンジャー行：みずほ銀行

貸 付 人：国内金融機関

契 約 金 額：500億円

契 約 締 結 日：2026年8月31日

実 行 日：2026年8月31日

期 間：1 年

※1：「Mizuho Eco Finance」の商品概要にかかるウェブサイト

<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/mef/index.html>

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上